

# ふるさと再発見 ⑩



鹿火屋の水車



齋藤さん宅の臼

私たちの住む吉岡町は、榛名山の東麓の自然の恵みを受け発展してきました。特に、吉岡川をはじめとする中小河川の豊富な水は、町の農業の黎明期から大きな役割を果たしてきました。吉岡村誌にはその足跡として水車が町内いたる所に造られていたと記されています。その数50有余といわれていますが、精米、精麦、製粉が主な役割だったようです。緩やかな傾斜の地形が水車の設置には幸いしたのでしょうか。戦前には発電を行う水車も出現しました。下野田地域だけでも10カ所で水車が活躍していましたが、それぞれの水車には独特の通称がついていました。

水車が姿を消したのは、大戦中の大干ばつが影響だといわれています。戦後の動力の普及もその役割を終える大きな要

## 「ふる里の水車の記憶」

因となりました。当時使われた石臼は、漆原の齋藤正志さん宅の庭園で見ることができます。水車全盛期の面影です。

武藤 清（下野田）

- ◎下野田地区の水車
  1. 十一車(谷地)、2. 里車(中内手)、3. 八幡車(中内手)、4. 石田車(中内手) 5. 文山(中内手)、6. 大和屋豆腐店(中内手)、7. 飯塚車(宮ノ下) 8. 吉田車(宮ノ下)、9. 八十一車(下野田)、10. 荒物屋(下野田)
- ◎その他の地域の水車の数
 

小倉地区 3 力所、上野田地区 7 力所、北下地区 6 力所、南下地区 10 力所、大久保地区 4 力所、漆原地区 8 力所

### 編集後記

今年の夏は40度を超える猛暑に豪雨、そして竜巻と、自然の猛威をあらためて思い知らされる夏でした。こうした異常気象は温暖化が着実に進んでいる証拠とのこと。化石燃料への依存を減らし、全地球的な、再生可能エネルギーなどへの転換が急がれます。

まちでも、今年、地中熱空調システム導入に向けて調査を行っています。

さて、今回の議会だよりは101号です。これを機に表紙の題字も一新しました。これからも創意工夫を重ね、みなさまに親しまれる議会だよりを目指していきます。

(飯島 衛)

### 編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 石倉 實  |
| 副委員長 | 飯島 衛  |
| 委員   | 馬場 周二 |
|      | 栗田 俊彦 |
|      | 山畑 祐男 |
|      | 平形 薫  |
|      | 金谷 重男 |